

平成30年11月28日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 小川郁男 様

施設名 介護老人保健施設 すみよし
 氏名 小林 永治

研修会報告書

研修会名	第2回生活リハビリ研修				
日時	平成30年11月22日(木) 10:00~16:00				
会場	埼玉県民活動総合センター 210セミナー室				
講師	リハビリテーション天草病院 阿部高家氏/プライムケア川越 前園佑貴氏 村野弘美氏				
参加人数	51名				
研修委員 (氏名・施設名)	浦田 千絵(グリーンピア) 小林 永治(すみよし) 小林 純一(瑞穂の里) 川崎 清史(ケアパーク江南) 津田 剛(グリーンビレッジ安行)				
研修会のテーマ	老健における各生活場面での実践例を学ぶ				
研修会の評価	アンケート回収枚数	51 枚	3. グループワーク	3.7 / 5	
	1. 研修内容と目的の一致	3.7 / 5	4. 研修会の進め方	3.9 / 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	~総合評価点~	20 / 25
		②	4 / 5		
③		/ 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	【反省点】				
	◆グループワークの課題が解答となる部分と一緒に印刷されていたため、一部それを先に見てしまった参加者の自由な発想を狭めてしまったかもしれない。次回は別紙として用意する等配慮したい。				
	◆恐らく相手方の申込書の送信ミスが原因で、名簿に記載のない4人の参加者(同一施設に所属)があったが、事務局が資料を多めに用意してくれていたおかげで混乱なく対応できた。				
	◆参加者それぞれが働く現場でも在宅復帰に向けて様々な取り組みがあるはずである。それを座談会的に情報交換する展開があれば、さらに学習が深まり満足度が増したかもしれない。				
	◆新しい福祉用具の紹介に関して写真と説明だけではイメージしにくいため、動画があると分かりやすかった。				
	【まとめ】				
	◆PTとCWの講師からのそれぞれの視点での講義、及びグループワークを通して多職種連携、声掛け、情報共有の必要性を感じたとの意見が多数上がり、第1回の職種間の歩み寄りというテーマとうまくつなげることができた。				
	◆研修の流れはスムーズであり、アナウンスも的確であった。適度に休憩を入れたこと、体験やグループワークのバランスが良かったことにより集中力が維持され、それが参加者の真剣に学ぶ姿勢に現れていたと感じた。				
	◆研修案内では第1回とセットでの参加を促したが、51名の参加者のうち第1回からの参加者は3名であった。概論中心の第1回では「明日から使える知識」を期待した参加者から物足りないという意見が出たが、今回はより実践的な内容であったため自分の施設でも取り入れたいという意見が目立った。				
◆研修委員の反省会では、前回の反省や参加者からの要望、委員の学びたい内容を今回はうまく取り入れられて良い研修会になった、委員としても満足できる内容だった総括された。					

*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。